

2008年度父母の会執行部定例会（第5回）議事録

日時：2008年10月4日（土）午前9時30分～午前10時30分

場所：補習校 父母の会室

出席者：アージェント、中島、ケニー、サントス、ローネン、早川
森下（資）、徳永（行）、守（図）、武中（広）、松浦（運）、
高橋（記）

1. 資金調達委員の活動状況について

- ・ NPO化の結果を待って企業、個人に寄付の申し出をするつもりであったが、まだその結果がでるまでに時間がかかりそうなので、先に企業、個人あての寄付願いの送付を開始する。

2. 父母の会だより2号の内容、配布時期の再検討

- ・ NPO化の結果がまだでておらず当初予定していた発行日からは遅れるが、10月25日に第2号を配布したい。前週の18日は休校日であるため11日までは印刷をし、各クラスのフォルダーに入れるように準備をすすめる。
- ・ 内容は広報委員の活動内容、補習校ホームページの紹介、資金調達活動やバザーの無くなった理由に加え、次年度の役員、委員の選出に関する説明とアンケートを主とする。

3. 新役員、委員の選出方法

- ・ 前年度の抽選プロセスについての説明。
- ・ 現在の抽選方法のかかえる問題点についての説明とその解決案。
 - ① 選出基準がはっきりしていない
⇒保護者に抽選についてのアンケートをとり、その中から多い意見を選出基準として採択する。
 - ② 抽選制度を知らない保護者がいる
⇒父母の会だより2号で抽選制度について説明する。
 - ③ 当選者に役職の内容の説明が十分行われなかったため後になって辞退する人が出てくる。特に図書にあたっては、委員と係の仕事内容が混同されやすく後になってトラブルが多い
⇒各役員、委員、係の仕事内容を記したものを保護者に配布する。
⇒当選者への電話連絡の際正確な情報が提供できるように、各委員の代表者が同席する。

- ④ 当選発表日当日に電話に出ようとしない人がある。
⇒当日出張などで電話に出ることが出来ない人は事前にその旨を父母の会まで連絡する。連絡がない場合は役職を引き受けるものとみなす。

その他の意見として

- ◎ 補習校にとってボランティアで成り立っている父母の会は学校の性質上必要不可欠であることを説明する。
- ◎ 両保護者とも仕事を持っていることを理由に辞退する人がいるが、そういった場合は代行も考慮すべきではないか？
- ◎ 父母会の活動内容を見直し、もっと仕事を少なくする。
- ◎ 学校説明会の際に役員、委員をしなければならないことを学校側から伝えてもらう。
- ◎ 父母会の活動に携わることによるメリット（例えば学費の割引など）を考えるのはどうか？

以上